

新進気鋭の作曲家による世界初演。

オーケストラ・アンサンブル金沢

Shin-ichiro Ikebe

監修・案内役
池辺晋一郎



能舞
高橋憲正
シテ万宝生流能楽師

和洋の響 V

能舞とオーケストラ

能舞監修：村上 湛
(石川県立音楽堂邦楽主幹)

2025

2/11

火
祝

14:00開演
(13:15開場)

石川県立音楽堂コンサートホール

Norimasa Takahashi

Orchestra Ensemble Kanazawa

管弦楽
オーケストラ・
アンサンブル金沢



箏
山野安珠美

Azumi Yamano

踊り・演出・振付
堀内将平
K-BALLET TOKYO
プリンシパル

Shohei Horiuchi

指揮
飯森範親

Norichika Iimori

©山岸伸

新曲初演

2024年度
和洋の響作品募集 優秀作品

向井 響

「水の反映Ⅲ」

～十三絃とオーケストラのための～

作曲
向井 響

Hibiki Mukai

ミヨー
D.Milhaud

フランス組曲 Op.248
Suite francaise Op.248

ラヴェル
M.Ravel

組曲「クーブランの墓」
Suite 'Le tombeau de Couperin'

ラヴェル
M.Ravel

「マ・メール・ロワ」
Ma mere l'oye

チケット料金
[全席指定]

S席: 6,000円 A席: 4,000円 B席: 2,500円

※OEK定期会員・邦友会割引有り(S席1,500円引き、A席1,000円引き) ※U25:25歳以下の方は50%off(前日より電話予約可/空席がある場合に限り)

プレイガイド

石川県立音楽堂チケットボックス(窓口9:00～19:00、電話10:00～18:00/休館日:12/29～1/3、1/20) TEL076-232-8632
チケットぴあ(Pコード 285-081)・ローソンチケット(Lコード 52183)・セブンチケット(108-481)

主催:(公財)石川県音楽文化振興事業団
共催:(一財)石川県芸術文化協会
後援:北國新聞社

助成: 文化庁

文化庁文化芸術振興費補助金
劇場・音楽堂等機能強化推進事業(劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

託児ルーム(有料)あります。TEL.076-232-8111
2/1(土)17:00までにお申し込みください。

「和」と「洋」が響き合い、新たな息吹をもたらす創造のステージをご期待ください。

和洋の響

能舞とオーケストラ

石川県立音楽堂では、これまでオーケストラ・アンサンブル金沢によって「和」と「洋」の数々のコラボレーション作品が上演されてきました。本公演でも「能舞とオーケストラ」作品を募集し、審査員 池辺晋一郎氏（石川県立音楽堂エグゼクティブ・ミュージック・ディレクター）、飯森範親氏により選ばれた1曲を、OEKの演奏とシテ方宝生流能楽師 高橋憲正、バレエダンサー 堀内将平、箏 山野安珠美との共演により初演いたします。今後も実力ある若い作曲家による邦楽とオーケストラ作品の発表・再演の機会を作り、広げていきたいと考えています。

【監修・案内役】

池辺晋一郎

Shin-ichiro Ikebe



作曲家。日本音楽コンクール、尾高賞などの受賞の他、映画、テレビ等の附帯音楽分野での受賞も多数。04年紫綬褒章受章。18年文化功労者として顕彰される。主要作品は交響曲No.1～10、オペラ「死神」「高野聖」他。演劇音楽は約500本を担当した。現在、東京音楽大学名誉教授、東京オペラシティ・ミュージックディレクター、石川県立音楽堂エグゼクティブ・ミュージック・ディレクターをつとめる。09年3月まで13年間NHK-TV「N響アワー」出演。15年4月よりNHK-FM「N響 ザ・レジェンド」の解説を担当。いしかわ・金沢 風と緑の楽都音楽祭実行委員会会長。

【指揮】

飯森範親

Norichika Iimori



桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮、東京交響楽団正指揮者、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督（GMD）等歴任。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

◎オフィシャル・ホームページ
<http://iimori-norichika.com/>

【能舞】

高橋憲正

Norimasa Takahashi

シテ方宝生流能楽師



金沢市出身。1980年、高橋右任に師事。5歳で「鞍馬天狗」子方にて初舞台を踏む。1998年、東京藝術大学邦楽科宝生流専攻卒業後、宝生英雄十八世宗家の内弟子となる。2007年、宝生英照十九世宗家の許しを得て独立。同門会として憲宝会を立上げ、小学生から大人まで幅広い年代層に仕舞と謡の指導を行う。2007年「石橋」シテ、2011年には「道成寺」のシテ等を披露。現在は、宝生流の定期公演をはじめ、石川県立音楽堂、金沢能楽美術館の企画への出演を通して金沢宝生の普及にも努める。2013年4月～2015年3月、東京藝術大学音楽学部非常勤教育研究助手を勤める。公益社団法人能楽協会東京支部会員。公益社団法人宝生会会員。公益社団法人金沢能楽会会員。無形文化財（総合指定）保持者。

【踊り・演出・振付】

堀内将平

Shohei Horiuchi

K-BALLET TOKYO
プリンシパル



東京都生まれ。10歳よりバレエを始める。ルーマニア国立バレエ団を経て、Kバレエカンパニー（現Kバレエ トウキョウ）にアーティストとして入団。20年10月最高位プリンシパルに昇格。Kバレエ スクール ティーチャーズ・トレーニングコース修了。主な出演作は、熊川版『ドン・キホーテ』のバジル、『ロミオとジュリエット』のロミオ、『くるみ割り人形』のくるみ割り人形／王子など。初演キャストとしては、熊川版 新制作『眠れる森の美女』のデジレ王子、熊川振付『蝶々夫人』のピンカートンなどがある。バレエダンサーとして舞台上に立つだけでなく、ミュージカル『ロミオ&ジュリエット』（2021年）への出演や舞台制作など様々なジャンルでの活躍の場を広げている。

【箏】

山野安珠美

Azumi Yamano



沢井忠夫、沢井一恵に師事。文化庁新進芸術家国内研修員を経て、洋楽器や民族楽器等ジャンルの異なる演奏家と共演、『題名のない音楽会』『邦楽のひととき』等TV・ラジオ出演、新作歌舞伎等舞台音楽、他CD録音多数参加。アウトリーチ活動にも力を注ぐ。海外公演は凡そ40カ国。様々な可能性を求め、あらゆる角度から邦楽の枠をこえ音楽活動を展開。

【作曲】

向井 響

Hibiki Mukai



桐朋学園大学卒業。日本音楽コンクール作曲部門、マートン・ギヴォル国際作曲賞、ACL青年作曲賞、各1位。ストラスブール現代音楽祭グランプリ、ローソン・メイ作曲賞、マリン・ゴレミノフ国際作曲賞を受賞。これまでに、NHK、グルベンキアン財団より委嘱を受ける。文化庁より派遣され、現在ボルト大学大学院博士課程に在籍。



【管弦楽】

オーケストラ・アンサンブル金沢

Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、世界的指揮者、故 岩城宏之のリーダーシップのもと石川県と金沢市により設立。多くの外国人を含む40名からなる日本初のプロの室内オーケストラ。石川県立音楽堂を本拠地とし、国内外にて年間約100公演を行うほか、座付き作曲家制度、古典芸能とのコラボレーションなど独自の活動でも注目を集める。2022年より指揮者の広上淳一がアーティストック・リーダーを務める。

◎オフィシャルサイト <https://www.oek.jp>